むくげ通信 314 号 2022. 9. 25

歌・ノレ・노래 １８４

『青春の夢』

山根 俊郎

「歌謡舞台」

私は、毎週土曜日は早起きをして午前６時からテレビ「KBS WORLD」で韓国の懐メロ番組である「歌謡舞台 ·가요무대」を見ています。

金東鍵（ｷﾑ・ﾄﾞﾝｺﾞﾝ）アナウンサー（満８３歳（1938. 11. 25 生まれ。黄海道 沙里院出身）のきれいな韓国語の名調子で進行する「歌謡舞台」は、1985 年 11 月４日から始まり、去る９月 19 日（視聴率 8.2%）には、1767 回を数える長寿番組です。（韓国では、KBS1TV で毎週月曜日 PM10 時から 50 分間放送）

「歌謡舞台」の HP

ソル（正月・陰暦１月１日）や秋夕（チュソク、陰暦８月 15 日）の名節や「５月の家庭月間」、６・２５（朝鮮戦争）、光復節（８月 15 日、日帝からの解放記念日）になるとそのテーマに合った大衆歌謡が歌われます。

また、春夏秋冬の季節の節目にはその季節にふさわしい歌謡が風物詩として流されます。

３月に春を迎えるときには、必ずこの『青春の夢・チョンチュネ クム・청춘의꿈』が歌われます。とても軽快な歌で楽しい歌です。

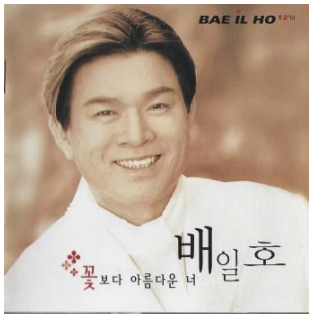
次ページの「表１」をご参照ください。

2011 年～2022 年の期間に『青春の夢』が歌われた実績を調べました。

１．歌われる順番も１番目など最初が多く雰囲気を盛り上げようとしています。フィナーレで歌われることもあります。

２．歌手では、エネルギッシュな男らしいイメージのペ・イルホ（배일호）が最多の３回も歌っています。過去にレコードを出した元老歌手の金用萬（ｷﾑ・ﾖﾝﾏﾝ）も２回歌っています。パク・サンチョル（박상철）、ソル・ウンド（설운도）、玄哲（ヒョンチョル）、チョ・ハンジョ（조항조）など有名な男性歌手が多いです。

女性トップ歌手であるチャン・ユンジョン（장윤정）、玄淑（ヒョンスク）も歌っています。



ペ・イルホ（배일호）

金用萬（ｷﾑ・ﾖﾝﾏﾝ）

ソル・ウンド（설운도）チャン・ユンジョン（장윤정）

３．歌が歌われる時に「歌の題名・発表年・作詞者・作曲者・歌手名」が表示されます。歌う歌手の名前は歌い出した時に出ます。

『青春の夢』発表年の変化

「表１」を詳しく見ると下の段「発表年、歌手名」に変化が読み取ることができます。

まず、２０１１年の「1952 年発表説」が２０１２年から「1947 年説」に変わります。

２０１７年から「1960 年説」に変わります。

２０２０年から再び「1947 年説」に戻ります。

従来から発表年は、でたらめなのものが多かったです。歌集もそうでした。

私は、このような変化に対して当時「歌謡舞台」の諮問委員に就任した大衆音楽研究家の李

李埈熙

埈熙（イ・ジュンフィ）聖公会大学特任教授の意見があったと思っています。

特に、２０１７年になり、発表年が1947年⇒1960年に変わり、歌手も金龍大⇒金用萬に変わりました。

金用萬の横には（元唱 金龍大）と記しています。

これは、「1947 年に金龍大が作詞・作曲して舞台で歌った。1960 年に金用萬がレコードに吹き込み発表した」と解釈すべきでしょう。

なお、李埈熙さんは、今年７月から肝臓がんで入院しているようです。奇跡的な回復をお祈りします。

金龍大の歌手活動について

日本で発行された朴燦鎬（ﾊﾟｸ・ﾁｬﾝﾎ）著「韓国歌謡史」Ⅱ1945-1980（2018 年邑楽舎・補筆李埈熙＝A と呼ぶ）を中心にして金龍大の歌手活動を見ていきます。

なお、時には朴燦鎬さんが韓国で先行して発行された朴燦鎬著「韓国歌謡史」Ⅱ1945-1980（韓国語版・2009 年図書出版未知ﾌﾞｯｸｽ・編集李埈熙＝B と呼ぶ）も参考にします。

A の P150－P152 の「新民謡の独歩・黄貞子（ﾌｧﾝ・ｼﾞｮﾝｼﾞｬ）」の項で金龍大が登場します。

以下、要約します。

黄貞子は（1930 年生？）生粋のソウルっ子で幼いころから巡回劇団「黄金座」の舞台に立っていた。幕間舞台に登場した天才ちびっこ歌手の黄貞子が、同じ年頃の男性歌手・金龍大と一緒にクェンガリを叩き、チャングを打ちながら新民謡をあきれるほど上手くうたってのけると、客席は感嘆の余り、アンコールの拍手が鳴り止まなかった。このとき黄貞子は８歳、子供にしては驚異的な舞台だった。（山根注：金龍大は３歳年上なので 11 歳と思われる）

1944 年、黄貞子は金龍大とともに中国・天津に行き、新太陽楽劇団に加入し、孫牧人、李寅権、玄仁、申カナリア、朴丹馬、白一姫、黄海らとともに舞台で活動した。

解放とともに、帰国船でソウルに戻った黄貞子は、金龍大とともに楽劇団の舞台で活躍した。（中略）

解放直後、黄貞子は金龍大と同棲していたといわれる。金龍大は慶尚南道 蔚山出身、1938 年に黄金座に加入し、『青春の夢』などの歌を吹き込んで有名になる。しかし、彼は 48 年にひとりで日本に渡り、神戸で在日韓国人の経営する白頭レコードの専属歌手となった。（以下省略）

私は、金龍大の 1947 年レコード吹き込みの話にずっと困惑しています。当時は、資材も少なくあり得ないと思っています。

また、1948 年に日本の神戸の白頭レコード社の専属歌手の話も疑問が残る。私がむくげ通信２７３号（2015 年 11 月 29 日）に書いた◆研究報告「1947 年神戸の白頭レコードについて」には、金龍大の専属歌手の話は出てこなかった。翌年の 1948 年ならば、阪神教育闘争で大混乱していたので入社には無理があるようである。

金龍大自身が韓国に帰国後にそう主張したようである。

また、A の P115 には、（1951 年、朝鮮戦争中に）作曲家朴是春（ﾊﾟｸ・ｼﾁｭﾝ）が済州島にあった第一陸軍訓練所の軍芸隊長をしている時に金龍大は歌手として参加している。

金龍大

ここで私が秘蔵する資料である「韓国演芸大鑑」（1962 年成栄文化社）の歌手名鑑 P292 金龍大の記事を紹介します。

金龍大　住所：ソウル西大門区仏光洞 8-1。年齢：36 歳 ⇒1927 年生まれ？　出身：慶南 蔚山。専門：歌謡。経歴：24 年。黄金座 1939 年。日本神戸白頭レコード社経由 1945 年。
曲：「青春の夢 •청춘의 꿈」、「プムパ プムパ•품바품바」、「愛を乗せる青春馬車 •사랑을 실은 청춘마차」。

以上の資料から、金龍大は、解放後に日本に渡り朝鮮戦争中には帰ってきて、済州島の第一陸軍訓練所の軍芸隊で活動をしていたようです。

その後、また日本に行き、1960 年に帰国して 1962 年現在は、ソウルに住み、歌手活動をしていたようです。

元老歌手 金用萬

元老歌手である金用萬は、1933 年１月 22 日生まれと言われていて、満 89 歳です。今でもTV、ラジオに出演してとても健康そうに見える。

A の P193－P194 の「漫謡の第一人者・金用萬」の項を見ていきます。

金用萬は、1935 年（？）にソウルで生まれた。52 年にショー団体「アリラン」に所属し、54 年には中央放送局の専属歌手となった。

初ヒット曲はアリランレコードから発売された『南原の哀愁 ·남원의 애수』〔山根注 1954 年〕で、ついで新新レコードに移って『孝女沈清・효녀심청』〔山根注 1956 年〕などをヒットさせ、スター歌手となった。この 2 曲はそれぞれ、パンソリで有名な『春香伝・チュナンジョン・춘향전』の物語から題材をとっている。（中略）

金用萬は、朝鮮民謡独特の「唱」（ﾁｬﾝ）の味わいのある唱法で大衆にアピールし、続いて『青春の夢・청춘의 꿈』〔山根注 1960 年〕、『女班長・여반장』〔山根注 1956 年〕、『青山流水・청산유수』〔山根注 1956 年〕などのヒット曲を放った。

『青春の夢』は 1941 年、作者の金龍大自身が吹き込んだ歌だともいう。ただ、金用萬のうたった歌詞は、金龍大自身がうたったものとは、多少違っているようだ。

青春は春〔ﾎﾟﾑ〕さ　春は夢の国
いつも楽しい　歌をうたおう
つつじがにっこり春春
青春はにこにこウインクする春春春春春春春
胸はわくわく　踊る夢よ
そよ風、春風が踊る春春
小川の柳笛　ピピピピリピ
ララララ　ララララ　ララララ　ララララララ
ラララ　ラララ　ラララ　ニッコリリ春春
青春は春さ　春は夢の国
（金龍大曲/金龍大曲/金用萬唄『青春の夢』
（以下省略）

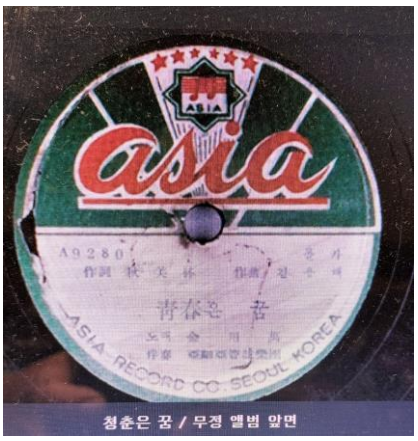
再び「韓国演芸大鑑」（1962 年成栄文化社）の歌手名鑑 P292 金用萬の記事を紹介します。

金用萬　住所：ソウル中区南大門路２街 121。年齢：29 歳 ⇒1933 年生まれ　出身：ソウル。専門：歌謡。経歴：11 年。『アリラン』1952 年。中央放送局専属 1954 年。『新新（レコード）』1954 年。曲：『孝女沈清』『南原哀愁』『女班長』『三等人生』『青山流水』以下省略

金用萬の『青春の夢』レコード

李埈熙さんのお仕事は、すばらしくて驚かされる。ＳＰレコードの研究の第一人者です。

李埈熙さんは「韓国大衆歌謡１１０００」というサイトで金用萬が吹き込んだ『青春の夢』（ＳＰレコードでは『青春は夢』と表記された）のＳＰレコードを解説しています。



『青春は夢』ラベル A 面

アジアレコードから 1960 年に発売された音盤である。金用萬の『青春は夢』は、秋美林（ﾁｭﾐﾘﾑ）作詞、金龍大作曲。黄琴心（ﾌｧﾝ・ｸﾑｼﾑ）の『無情』は、秋美林作詞、全壽麟（ﾁｮﾝ・ｽﾘﾝ）作曲。〔山根注 1932 年李愛利秀（ｲ・ｴﾘｽ）が歌った『荒城の跡』（ﾌｧﾝｿﾝｴ ﾁｮｸ）の作曲家〕

『青春は夢』は、1947 年頃に、『無情』は、1934 年に、既に他の歌手が発表した曲であるが、1960 年前後のリバイバルブームにより再び発表された。

『青春は夢』は、1960 年になり、初めて音盤に収録されたものと見られる。元来 1947 年頃に金龍大が舞台で初めて発表したが、いくらか曲が知られ始めた時に歌手が日本に渡ったので録音の機会がつかめなかった。他の歌手たちの公演や歌集で流通されて、曲自体は 1950 年代に人気を得た。

以後 1959～1960 年にアジアレコードが設立されて最初の音盤を制作するときに初めてこの曲を音盤に録音した。原曲を作り、歌った金龍大が 1960 年６月東京スウィングオーケストラ来韓公演の時に帰国したので、この曲は 1950 年代を代表する漫謡歌手金用萬が代わりに録音した。（中略）

ＳＰとＬＰ音盤の並行制作

１０インチＬＰ音盤が新しい媒体の主導権を握りリバイバルブームが起こったが、ＳＰ音盤の需要層は相変わらず存在した。特に媒体転換の進行の速度が遅かった地方ではＳＰ音盤の販売量を無視できなかった。それで２曲は、同じ時期にＳＰ音盤とＬＰ音盤の２つのバージョンで発売された。

販売時点ではＳＰ音盤が若干、先行していたものと推定される。このＳＰ音盤は、A101 という一連の番号がアジアレコードの最初の販売作品と推定されるのに関わらず、全く異なる番号の A9280/A9281 が刻まれた。他にもこの番号が刻まれたＳＰ音盤がある。ただし、この番号は版面陰刻に入っているので音盤番号ではなく、録音番号と見るのが妥当である。

録音番号がラベルに印刷された理由は制作過程で起こったミスのようである。

蓄音機音盤とＬＰ音盤の異なる題名

２曲を収録した１０インチＬＰ音盤は、アジアレコードの６番目の作品(A.ＬNO.6)である。３番目の音盤までがすべて演奏音盤だったことを勘案すると、歌としては３番目の音盤である。

ＳＰ音盤では最初に出たが、ＬＰ音盤の収録順序が遅れた理由は不明である。

ただし、新作でないリバイバル曲であった点が影響したと見ることができる。

１０インチＬＰ音盤では、ＳＰ音盤とは異なり『青春は夢』という題名が『青春の夢』に変わった。事実、1950 年代初めに刊行された歌集ではこの歌を『青春の夢』または、歌詞の最初を取って『青春は春さ』という題名で収録されている。『青春は夢』の原題は歌集と１０インチＬＰ音盤の表記に従い『青春の夢』と見るのが妥当である。

変形された原曲の歌詞と作詞者の表記

題名の他にも原曲とリバイバル曲が違う点が他にもある。

原曲の歌詞が少しずつ変えられて、また録音されて、作詞者の名前も違って表記された。

『青春は夢』は、先に作られた音盤はないが歌集の資料からは、すべて金龍大作詞と表記されているのにリバイバル音盤では、秋美林と表記が違っている。

元来、全壽麟作詞であった『無情』もまたリバイバル音盤では作詞者の名前が秋美林に変わった。秋美林は 1960 年前後にリバイバル改詞を最も多く担当した半夜月（ﾊﾟﾝ・ﾔｳｫﾙ）の筆名である。歌詞と作詞者の名前が変わる場合は、越北（北朝鮮に自主的に行くこと）作家の作品に多いが、そうでない例も少なくないことがこの音盤で分かる。

今も春になると歌われる『青春は夢』

『無情』は、黄琴心以外にも 1960-1970 年代に多く歌手がリバイバルした当代の人気曲である。しかし、最近はよく聴かれる歌ではない。半面、『青春は夢』は、リバイバルの幅も広く、今でも春になれば容易く聴くことができる。

漫謡スタイルの曲調と歌詞がおもしろいという点もこの歌が根強く歌われる理由であるが、重要な背景は季節を代表するシーズンソングの古典としての座を獲得したためである。

金用萬が歌った歌詞

２０１７年３月 20 日歌謡舞台で金用萬が歌った『青春の夢』の歌詞を日本語訳します。

(9) 가요무대 - 청춘의 꿈 - 김용만.20170320 - YouTube

1. 青春は春さ　春は夢の国
いつも楽しい　歌をうたおう
つつじがにっこり春春
青春はにこにこ ウインクする春春春春春春春
胸はわくわく青春の夢
そよそよ春風が 踊りを踊る春春
川辺の柳の笛は　ピッピリ　ピッピリピッ
ララルラルラ　ララルラルラ　ララルラルラ～
ララルラ ララルラ ララルラルラ ニルリリ春春
青春は春さ　春は夢の国
2. 青春は香りさ　春は新しい国
いつも明朗な　歌をうたおう
れんぎょうが にっこり笑う春春
青春はひそひそと ささやく春春春春春春春
ひばりがピーチクパーチク 希望の春
そよそよ春風が 踊りを踊る春春
川辺の柳の笛は　ピッピリ　ピッピリピッ
ララルラルラ　ララルラルラ　ララルラルラ～
ララルラ ララルラ ララルラルラ ニルリリ春春
青春は春さ　春は新しい国　（終り）